

入賞作品18点による展覧会を開催！

(於：リアス・アーク美術館／会期：3月4日①～4月23日⑩)

第7回
気仙沼
南三陸

フォトコンテスト入賞作品決定!!



CONTENTS

- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品……………②
- 令和5年度組合一般会計予算……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- リアス・アーク美術館 令和5年度の催事紹介……………⑥
- 広域消防 令和4年消防統計……………⑧

最優秀賞

『いざ、漁場に向け出港』

藤村 和也 さん(気仙沼市)
(鶴亀橋より撮影)

「未来に残したい、私たちの今」をテーマに気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、35人の方から90点の作品をご応募いただきました。

審査は、1月13日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの齋藤秀一氏（齋藤秀一写真事務所・仙台市在住より、「写真がとても新しくなってきたおり、若い方が多く、写真の表現が変わってきたように感じました。また、写真にストーリー性があることに目がきました。次回以降もフォトコンテストにとても期待が持てます。」との総評をいただいております。

優秀賞



『大谷海岸・こどもの日』（大谷海岸）
三浦 明彦 さん（登米市）

優秀賞



『令和の田園風景』（赤岩四十二）
佐藤 剛士 さん（気仙沼市）

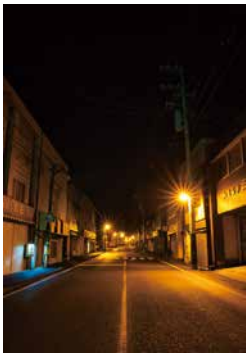


『気嵐の志津川湾』（志津川）
藤島 純七 さん（仙台市）



『にぎわいの余韻』（道の駅さんさん南三陸）
阿部 莊 さん（盛岡市）

佳作



『マンボウサンバが聴こえる』（本吉町津谷松岡）
佐藤 淳一 さん（気仙沼市）



『入札待ち』（魚市場）
村上 淳 さん（気仙沼市）



『雨の日さんぽ』（松崎外ヶ沢赤坂公衆園）
佐藤 淳一 さん（気仙沼市）



『雪降りの漁港』（湾内）
菊田 清一 さん（気仙沼市）



『思い馳せて』（南三陸 311 メリアル）
三浦 明彦 さん（登米市）



『すずめ！気嵐の中を！』（横断橋展望スポット）
佐藤 剛士 さん（気仙沼市）

▽「潮騒」
小野寺 洋樹 さん（気仙沼市）
▽「カツオ船満船入港」
菊田 清一 さん（気仙沼市）
▽「落日の帆（セイル）」
藤村 和也 さん（気仙沼市）
▽「期待のサンマ水揚げ」
藤村 和也 さん（気仙沼市）
▽「春のある日」
千葉 郁子 さん（南三陸町）

賞候補



『憩いの場所』（旧気仙沼向洋高校）
村上 淳 さん（気仙沼市）

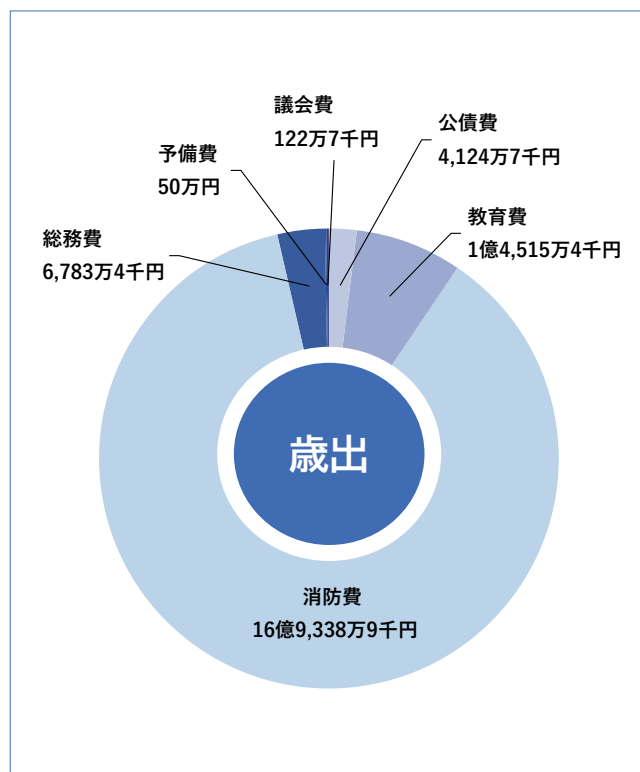
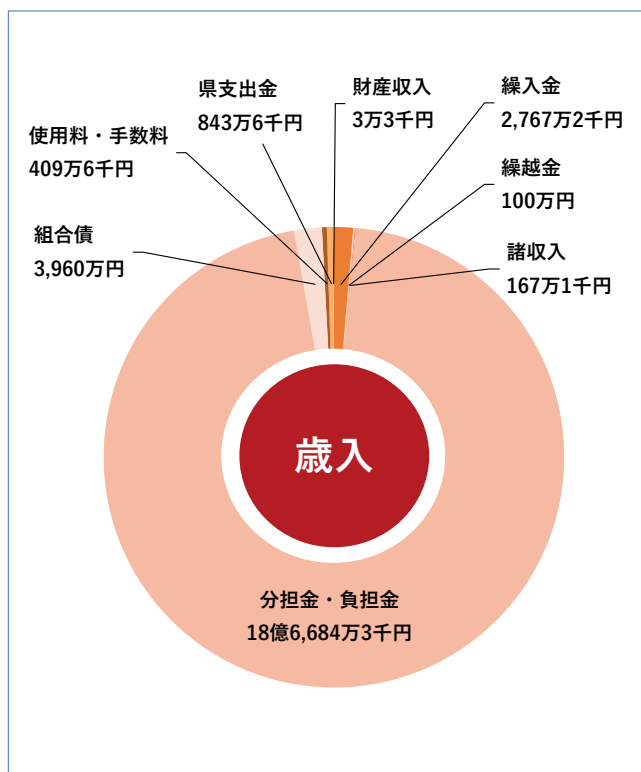


『気仙沼みなとまつり「海上打ち上げ花火」』（安波山ほしのてらす）
有働 貴暁 さん（仙台市）

総額

19億4,935万1千円

令和5年2月13日に開かれた第225回組合議会定例会において、『令和5年度一般会計予算』が原案のとおり承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。



歳出の主な内容

議会費 122万7千円 (0.06%)

組合議会運営費



総務費 6,783万4千円 (3.48%)

一般事務費、計画策定費、リアス・アーク美術館企画展等



消防費 16億9,338万9千円 (86.87%)

防災・消防・救急活動費・施設管理費等



教育費 1億4,515万4千円 (7.45%)

リアス・アーク美術館施設管理費等



公債費・予備費 4,174万7千円 (2.14%)

組合債の返済金等



※()内は構成比

令和5年度の主な事業

- 第8回気仙沼・南三陸フォトコンテスト
- はしご車保守点検委託(オーバーホール)
- 気仙沼消防署本吉分署高規格救急車の更新
- リアス・アーク美術館30周年記念展企画ワークショップ
- N.E.blood21 vol.82～vol.85
- リアス・アーク美術館円卓会議
- リアス・アーク美術館外部1階南面化粧壁修繕工事

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分		全職種
支給実績（令和3年度決算）		1,818,800円
手当の種類（手当数）		7種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（令和3年度決算）		12,991円
職員全体に占める手当支給職員の割合（令和3年度決算）		68.0%
内 容	①高度救命処置手当 1回 1,000円	②救急業務手当 1回 100～200円
	③機関手当 1回 100円	④災害業務手当 1回 200円
	⑤救助業務手当 1回 200～500円	⑥救急艇出動手当 1回 200円
	⑦防疫等作業手当 1日 3,000円～4,000円	

(4) 一般会計における時間外勤務手当

令和3年度	支 給 総 額	37,155,240円
	職員1人あたりの支給年額	192,514円
令和2年度	支 給 総 額	32,279,740円
	職員1人あたりの支給年額	167,253円

(5) 一般会計におけるその他の手当（令和4年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者・父母等：6,500円、子：10,000円
	2 その他の扶養親族：1人につき、6,500円
	3 特定扶養（満16歳～22歳までの子）：1人につき5,000円加算 ○ 国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員：28,000円を限度に家賃に応じて支給 ○ 国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1 交通機関などの利用者：55,000円を限度に運賃に応じて支給
	2 交通用具の利用者：使用距離に応じて、2,000円～32,700円を支給 ○ 国の制度との異同：1については、国と同じ 2については、国は2,000円～31,600円を支給

6. 特別職の報酬等

（令和4年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額
管 理 者	年額	69,000円	情報公開・	日額	30,000円
副 管 理 者	年額	60,000円	個人情報保護	日額	7,400円
議 会	年額	56,000円	審査会委員		
	年額	48,000円	リニア・アーク美術館	日額	7,400円
監査委員	年額	46,000円	協議会委員		
	日額	7,400円	ふるさと市町村圏計画広域	日額	7,400円
教育委員会	日額	8,300円	活動計画策定住民協議会委員		
	年額	7,400円	地方公務員法第三条第三	日額	予算の範囲内
	日額	7,400円	項第二号及び第三号に掲		で任命権者が
			げる特別職の職員		定める額

7. 職員の勤務条件、服務、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間／1日	始業時刻	終業時刻	休憩時間
7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から 午後1時まで

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日取得可能
病欠休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇 （主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内
	忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日 等
	夏 季 休 暇：7月から10月までの期間において3日以内
	産前・産後休暇：産前8週間以内の期間、産後8週間
その他の休暇	育児時間休暇：1日1時間又は1日2回、それぞれ30分
	介 護 休 暇：6か月の範囲内で必要な連続した期間

(3) 育児休業の状況（令和3年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（令和3年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員の服務の状況

職員の服務規律に関しては、次の組合条例等に規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

- ①気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の服務に関する規則
- ②気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の服務の宣誓に関する条例
- ③気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（令和3年度）

①職員研修の実施状況

区 分	研 修 名 等	受講者数 （延べ数）
宮 城 県 消 防 学 校	初任総合教育	2人
	専科教育	警防科 2人
		火災調査科 2人
		予防査察科 2人
	幹部教育	中級幹部科 2人
	特別教育	救急救命士再教育講習 2人
		救急救命士処置拡大講習 20人
		救助隊員再教育講習 2人
		通信指令員再教育講習 2人
消防大学校	総合教育 幹部科	2人
救急救命東京研修所	救急救命士養成	2人
その他（宮城県主催等）	人事評価研修、市町村職員研修ほか	325人

②勤務成績の評定の状況

業務・能力・態度評価による人事評価結果を勤勉手当に反映しています。

8. 職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（令和3年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数（延べ数）
定期健康診断（春季・秋季）	348人
人間ドック等（脳検診含む）	57人
各種検診（各種がん検診等）	202人

(2) 公務災害の認定状況

区 分	認 定 件 数
公 務 災 害	4件
通 勤 災 害	0件

9. 公平委員会の状況（令和3年度）

区 分	認 定 件 数
勤務条件に関する措置要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申し立ての状況	0件

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

地方公務員法第58条の2及び気仙沼・本吉地域広域行政事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第4条の規定により、下記のとおり公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免

① 採用者・退職者

区 分	採用者数	退職者数
一般行政職	0人	1人
消 防 職	2人	2人
合 計	2人	3人

② 退職事由別退職者数

区 分	定年退職	勤奨退職	自己都合退職など	計
退職者数	3人	0人	0人	3人

③ 再任用の状況

区 分	新規任用	任期更新	計
再任用者数	2人	1人	3人

(2) 部門別職員数の状況

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由
部 門		令和4年度	令和3年度		
事務局	正職員	7人	7人	0人	
	正職員	5人	5人	0人	
美術館	会計年度 任用職員	7人	7人	0人	
消 防	正職員	188人	187人	1人	新規採用者2人、 組合事務局へ派遣△1人
合 計		207人	206人	1人	

2. 人件費の状況（一般会計決算）

区 分	歳出額 (A) 千円	実質収支 千円	人件費 (B) 千円	人件費比率 (B/A)	(参考) R2年度の 人件費比率
令和3年度	1,777,997	28,783	1,469,331	82.6%	76.3%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況（一般会計の当初予算）

区 分	職員数 (A)	給 与 費				1人あたり 給与費 (B/A) 千円
		給 料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計(B) 千円	
令和4年度	208人	731,518	489,138	284,654	1,505,310	7,237

※1 職員手当には退職手当を含みません。

※2 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (令和4年4月1日現在)

区 分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一 般 行 政 職	273,047円	312,428円	44.0歳
消 防 職	295,016円	385,038円	36.6歳
宮城県（一般行政職）	317,441円	434,314円	42.1歳
国（一般行政職）	323,711円	405,049円	42.7歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況

(令和4年4月1日現在)

区 分		初任給	区 分		初任給
一般行政職	大学卒	182,200円	宮城県 (一般行政職)	大学卒	189,600円
	高校卒	150,600円		高校卒	155,700円
消 防 職	大学卒	208,600円	国 (一般行政職)	大学卒	182,200円
	高校卒	169,900円		高校卒	150,600円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（令和4年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主 事	主 事	参 与 係 主 主 査 主 任	主 幹	事務局 次 長	館 長	事務局長	
職員数	7人	2人	4人	2人	2人	1人	1人	19人
構成比	36.8%	10.5%	21.1%	10.5%	10.5%	5.3%	5.3%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況

(令和4年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主 査 主 任	係 長 所長補佐	出張所長 課長補佐 分署長補佐 当直司令 主 幹	次 長 署 長 課 長 副 参 事 分署長 指揮隊長	消防長	
職員数	49人	51人	25人	29人	20人	13人	1人	188人
構成比	26.1%	27.1%	13.3%	15.4%	10.6%	6.9%	0.5%	100%

5. 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当支給割合

区 分		手 当 の 内 容			
期末手当 勤勉手当	区 分	6月期	12月期	年 計	増減(対前年度)
	期末手当	1.200月分	1.200月分	2.400月分	△0.200月分
	勤勉手当	0.950月分	0.950月分	1.900月分	-
	計	2.150月分	2.150月分	4.300月分	△0.200月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%～15%					

(2) 退職手当支給率

(令和4年4月1日現在)

区 分		手 当 の 内 容			
退職手当	区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
	自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.7090月分
	勤奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分
	1. その他の加算措置：定年前早期退職特例措置（2～20%加算） 2. 1人あたり平均支給額：22,181千円				



開館時間

午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

休館日

毎週月・火曜日、祝日の翌日(土日除く)
年末年始・メンテナンス休館

常設展観覧料

一般:700(600)円
大学生・専門学生:600(500)円
高校生:500(400)円
小・中学生:350(250)円
※()は20名以上の団体料金
※入館は無料です!

所在・お問合せ先

〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢138-5
TEL:0226-24-1611
FAX:0226-24-1448
Email:riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

リアス・アーク美術館

YouTube
Instagram
Twitter

登録してね～!



リア美ホームページ

TOPIC

東北・北海道を描いた絵画
入賞作品決定!

「ランドスケープ・オブ・エヌ・イー vol.7」

「LANDSCAPE of N.E.」第7回公募展
「東北・北海道の風景と私」審査会(令和4年12月)にて、最優秀賞と優秀賞4点が選出されました。最優秀賞は塩竈市在住の釣舟富紀子さんのアクリル彩作品「金華山道の権現堂付近」。精細な描画が目を引く秀作です。いずれも今年春の展覧会にて展示されます。

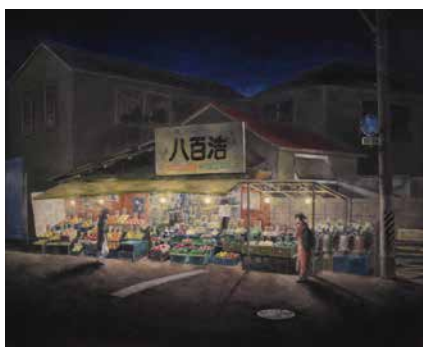


最優秀賞「金華山道の権現堂付近」 釣舟富紀子さん(塩竈市在住)



優秀賞「まちの呼吸」

大庭千怜さん(柴田郡柴田町在住)



優秀賞「帰路の灯」

後藤里緒さん(福島市在住)

第7回

LANDSCAPE of N.E.
公募展「東北・北海道の風景と私」

4月8日(土)～5月14日(日)

日常的な暮らしの風景や、土地の記憶が刻まれた風景。本展は東北北海道で、日々失われつつある風景を絵画として未来に残すことを目的に、平成20年から隔年で継続開催しています。
第7回からタイトル「東北・北海道の風景」に「と私」を付加し、より主観的な作品も含んだ幅広い応募対象としています。
本展では入賞・入選作品とコロナの影響により中止となった前回展の入賞作品を併せた約50点を展示・紹介します。心打つ風景画の数々を会場でごゆっくりとお楽しみください。

【観覧無料】



「うさぎの山薬や」
田中 望

2022年、45×61cm
パネル、胡粉、ジェッソ、水干、墨、箔、パステル



「物流」
狩野宏明

2020年、162×194cm
油彩、白亜下地、綿布、パネル

多様なアートを体感しよう!

東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画第82・85弾目の作家を2期で紹介いたします。【観覧無料】※パンフレットを無料で配布します。

N.E.=North Eastern(東北・北海道地域)
blood=血筋、活力、気質、情熱
21=21世紀・未来をこへ

前期 5月31日(土)～7月17日(日)・(祝)

82 田中 望 展(宮城県・絵画)

83 小太刀理予展(北海道・絵画)

後期 2月10日(土)～3月20日(土)

84 狩野宏明展(山形県・絵画)

85 只野彩佳展(宮城県・絵画)

ファイト新聞展

震災から12年。今振り返るその意義。

8月5日(土)～8月27日(日)

共催：ファイト新聞社

【観覧無料】

東日本大震災直後の気仙沼市の避難所で誕生した「ファイト新聞」。当時小学生だった4人が自主制作した新聞当初は回覧、直後に壁新聞は、過酷な避難所生活を強いられた人々に笑顔と活力をもたらしたと言われています。

直後からこの出来事が全国で話題となり、支援の輪が広がるなど大きな効果となりました。このファイト新聞とは、人々にとってどんな存在だったのか。

東日本大震災から12年目となる現在、あらためてその意義を検証すると共に、ファイト新聞を通じて当時の状況を回顧する機会とします。



東日本大震災直後の気仙沼市内の脇地区の様子(2011年3月24日撮影) ※震災常設展にて展示中

振替休館のお知らせ

5月24日(水)～26日(金)はゴールデンウィークの振替休館日となります。ご注意ください。

好評企画第7弾！
リアス・ジュニア
絵画コンクール vol.7

作品募集！

本企画は気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展です。

テーマは「あんなこと、こんなことしたよ」。入賞者には地域商品券(大賞12万円分、優秀賞15千円分)や図書カード(佳作1千円分)が贈られます。夏休み明けから学校を通じて募集を開始します。奮ってご応募ください！

※展覧会期は11月18日(土)～12月24日(日)

【応募・観覧ともに無料】

参加者募集！

人気企画！今年もやります！！
新！方舟祭2023

9月21日(木)～10月29日(日)

方舟祭(はこぶねさい)は当館主催の市民参加型文化祭です。表現活動を行っている方々の絵画・写真・手工芸等の展示や、楽器演奏会などの多彩な発表を週替わりで紹介いたします。6月初旬から参加募集を受け付けます。初めての方も大歓迎！どうぞお気軽にご参加ください。

【応募・観覧無料】

常設展

共通チケットで①②③のすべてをご覧いただけます。

①歴史・民俗資料展示

「方舟日記」海と山を生きるリアスな暮らし。地域の歴史・生活文化を「食」をキーワードに紐解き、手描きイラストや写真を添えて紹介しています。



身近な催事、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示「方舟漂流記」。次期の展示は「旅」をテーマにあれこれ考察します。

②収蔵美術作品展示

東北・北海道を中心とした当館ゆかりの美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示しています。

③東日本大震災の記録と津波の災害史

当館学芸員らが取材した記録写真2百余点と収集した多くの被災物に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考えます。

ワークショップから参加者募集のお知らせ

「アフラゼミ」開講

4月から翌年3月(毎月第2・4日曜日)までの通年ゼミです。絵画を基礎から学び、油彩画を制作します。参加は無料。高校生以上が対象です。お問い合わせは当館(24-1611)まで。

夏休み 親子クラフト教室

親子でものづくりの楽しさを味わうクラフト教室を8月11・12・13日に開講します。詳細は学校へ配布するチラシや7月頃の当館HPの記事をご覧ください。

【参加無料・定員8組・事前申込み】

共催展覧会の予定

- けせいもい展／9月上旬
- 気仙沼市立小中学校図工・美術作品展・ユネスコ世界児童画展／11月上旬
- 気仙沼市立小中学校児童生徒書きぞめ展／2024年1月末
- 気仙沼支援学校児童生徒作品展／2024年1月末



広域消防

令和4年消防統計



広域消防
女性消防吏員活躍推進
オリジナルキャラクター
(左)かなえちゃん
(右)みなみちゃん

令和4年の火災について 5年連続「火災死者ゼロ」を達成

当広域管内における令和4年の火災件数は24件(前年比5件増)で、昭和47年の広域消防発足以来4番目に少ない件数となりました。

火災による負傷者は4人(前年比2人増)でしたが、死者は0人で、5年続けて「火災による死者ゼロ」を達成することができました。

火災種別は、建物火災が19件(前年比7件増)、林野火災が0件(同2件減)、車両火災が2件(同2件増)、船舶火災が0件(増減なし)、その他火災が3件(同2件減)となっています。

出火原因別では、最も多いのが「ガスこんろ」、「放火・放火疑い」(各4件)で、次いで「煙突」(2件)、その他は「ストーブ」や「たばこ」など(各1件)となっています。

月別では、最も多いのが6月の7件、次いで1月、2月、12月の3件となっています。

山火事の防止について

これからは、空気が乾燥し風が強く、山火事が発生しやすい時季を迎えます。山火事の主な原因はゴミ焼きたき火、たばこの投げ捨てによるものです。屋外における火の取扱いには十分注意しましょう。

(※野外焼却は法律で原則禁止されています。)

電子メール受付について

当消防本部では、住民サービスの向上を目指し、令和5年1月1日から電子メールによる火災予防関係手続の受付を開始しました。消防法令等の規定に基づき提出することとされている通知書、報告書、届出書(以下「届出書等」という。)のうち、電子メールで受付可能な届出書等は次のとおりです。

- 1 自衛消防訓練通知書
 - 2 自衛消防訓練実施結果報告書
 - 3 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書
 - 4 煙火打上げ・仕掛け届出書
 - 5 催物開催届出書
 - 6 水道断減水届出書
 - 7 道路工事届出書
 - 8 露店等の開設届出書
- ※その他の届出書等については、随時更新を予定しています。

申請時の宛先(メールアドレス)及び注意事項については、当消防本部のホームページをご確認下さい。



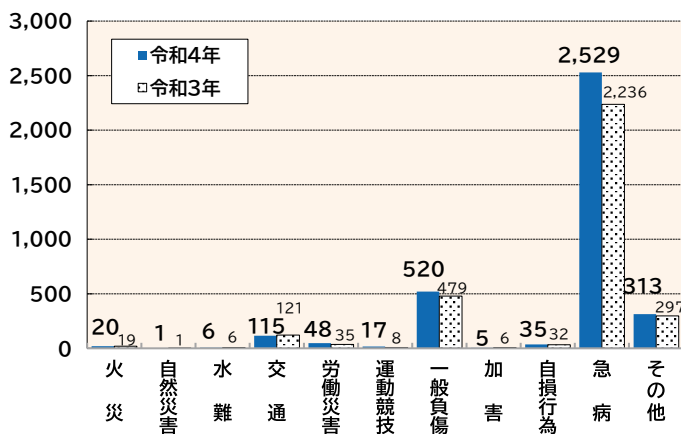
気仙沼・本吉消防
QRコード

令和4年の救急について

令和4年の救急件数は、東日本震災があった平成23年を除き、過去最高を記録し、救急出動は3609件で、3219人が搬送されました。

これは、一日平均約10回救急車が出動し、圏域住民の約22人に1人が救急車を利用することになります。これらを前年と比較すると、出動件数で369件、搬送人員で322人の増加となっています。搬送人員の割合として、事故種別では急病が全体の約70%、年齢別では65歳以上の高齢者が約71%を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な重症が約14%、中等症が約48%に対し、入院加療を必要としない軽症が約34%を占めています。



救急車の適正利用に ご協力ください

令和4年の出動件数3609件のうち不搬送が397件あります。そのうち緊急性なし等は231件、誤報・いたずら等によるものは29件ありました。

本当に救急車が必要な方のために救急車の適正利用をお願いします。宮城県は、夜間・休日の急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルを開設しています。看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご活用ください。

◆おとな救急電話相談 #7119

平日 19時～翌8時
土曜 14時～翌8時
日曜・祝日 24時間
◆こども夜間安心コール #8000
毎日 19時～翌8時

令和4年中の不搬送件数

